

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

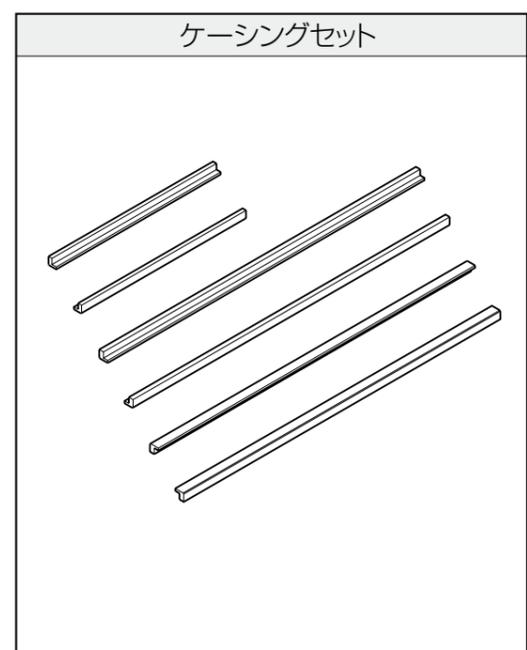
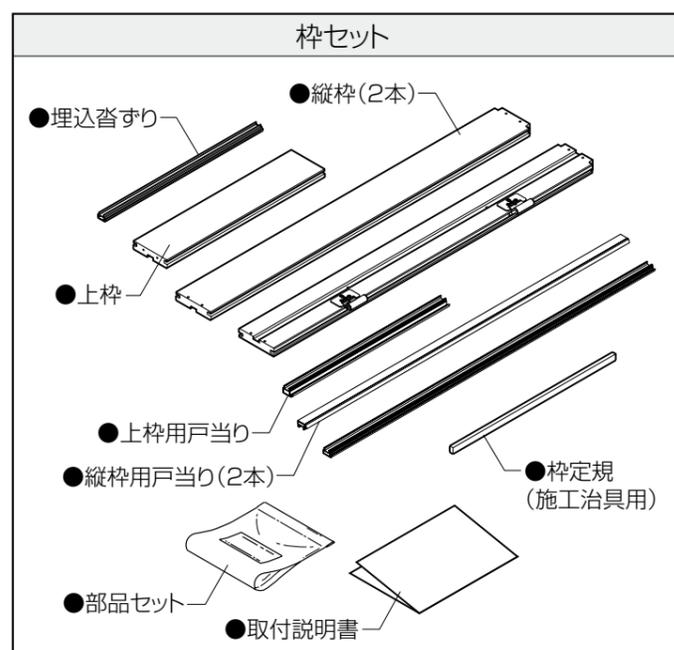
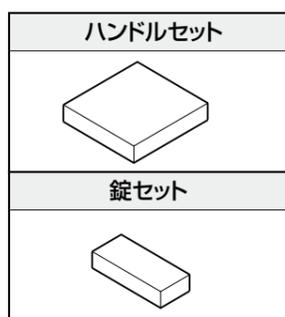
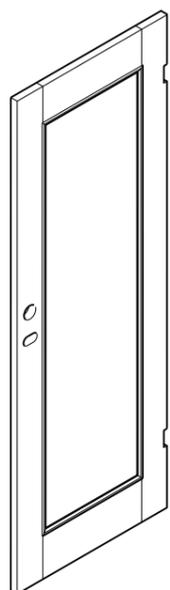
- 本体を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

■取付け上のおお願い

- 本製品は一般住宅用の居室用防音ドアです。カラオケボックスなどの業務用、玄関などの室外、浴室などへのご使用はおやめください。
 - 必ず、同梱の埋込沓すりを使用してください。薄沓すりの使用はできません。(縦枠長さがありません。)又、沓すりなし納めにされると防音性能が低下しますのでおすすめできません。
 - 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。調整機構付丁番・ストライクの可動範囲を超える枠の倒れ、ゆがみ、ねじれなどが発生した場合、開閉不具合の発生および防音性能の低下の原因となります。
 - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
 - 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間にはすき間をつくって納めてください。
 - 縦枠と柱、間柱とのすき間は枠固定金具を調整して柱にあてて内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。
 - 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
 - かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。止むを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - 丁番は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
 - 防音性能を維持するため、建築壁内の防音処理およびドア枠と下地材のすき間への充填材(防音パテ・コーキング材・遮音シートなど：現場手配)の使用をおすすめします。
 - 本製品は気密性を高めているため、ドアにて第3種換気に適合するすき間が確保できません。計画換気については第1種換気での施工をおすすめします。
 - ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
 - 施工時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い時間建具表面に直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- ※長期にわたる扉の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。扉のソリ・ねじれなどの原因となります。一時立て置き保管をする際は、下部気密材保護のため、ドア本体下部の下部ピースは取付けておいてください。
- 本製品のみでの使用では、防音効果はありません。必ず建築壁部(天井・壁床・窓・換気空調など)は防音性能を有する構成、構造としてください。

■部品・部材の明細

●ドア本体



■ 枠セット明細

	標準ドア プライベート仕様	トイレドア プライベート仕様
縦 枠	2	2
上 枠	1	1
戸当り	縦2・上1	縦2・上1
埋込沓すり	1	1
枠定規	1	1

■ ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■ 本体丁番ねじセット明細
(枠に同梱、丁番にテープ止め)

本体取付けねじ (皿タッピンねじφ4×20)	8本
------------------------	----

■ ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■ 錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

■ 部品セット
標準ドア・トイレドア プライベート仕様用

組立て用皿ねじM4×50	4本
上枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	※7本
縦枠取付け用なべタッピンねじ(φ4×40)	6本
埋込沓すり取付け用 なべタッピンねじ (φ4×40)	3本

- ※ 予備用4本含む。
- ドアストッパーセットは別売りです。

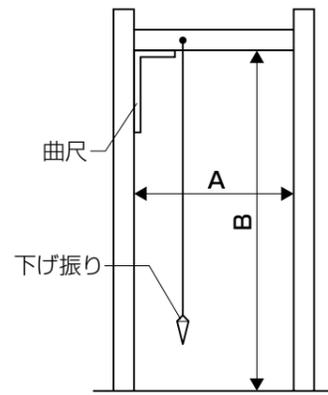
- ・ 室内ドア プライベート仕様枠セットは、埋込沓すり使用の四方枠構成です。必ず同梱の埋込沓すりを使用してください。
- ・ 薄沓すり納めはできません。床先張り(枠後付け)で納めてください。(縦枠が埋込沓すり納め寸法で設定してあります。)
- ・ 沓すりなし納めにされると防音性能が低下しますのでおすすめできません。
- ・ 縦枠の切断は不用です。

■ 開口部の作り方

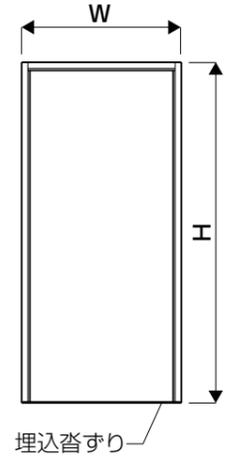
※ 開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

● 開口寸法



● 製品寸法



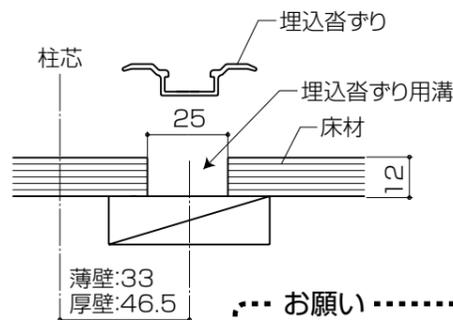
■ 取付け範囲 (単位: mm)

	薄壁用	厚壁用
対象壁厚	111~141	142~182

■ 取付け手順

1 床の施工

- ① 製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作製します。
- ② 補強材を必ず入れ右図の位置に25mmあけて床材を張ります。
※ 躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。
躯体下部に位置出しスペーサー部品が付いています。
床開口の位置出しが容易にできます。
- ③ 床を施工します。



お願い
※ 埋込沓すりの位置出しは、正確に行ってください。位置ずれして取付けた場合、防音性能が低下することがあります。

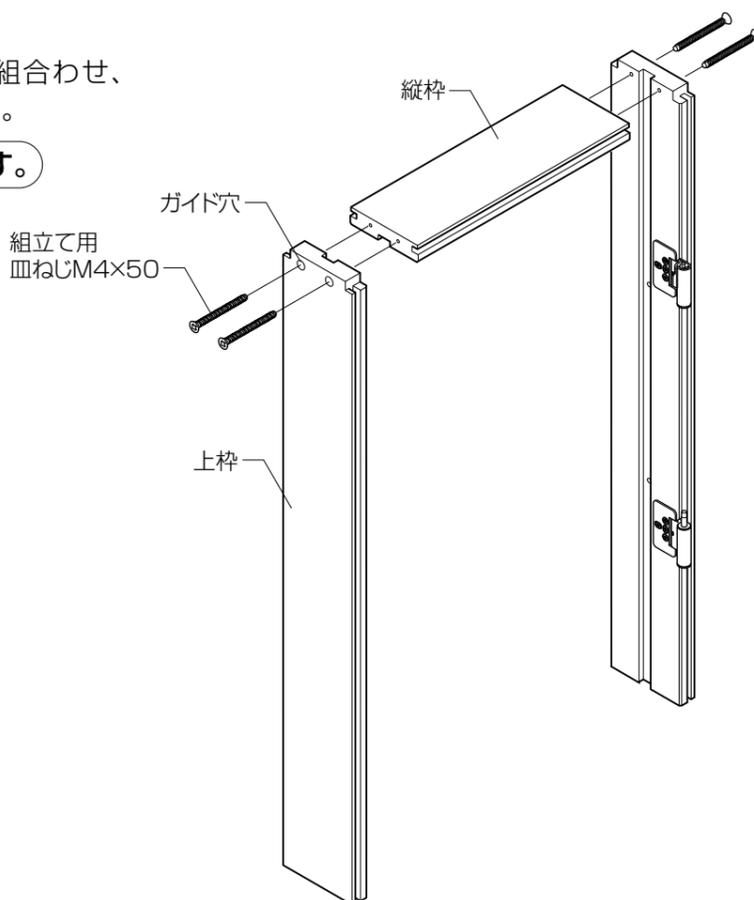
■ 製品寸法表 (単位mm)

呼 称	標準ドア プライベート仕様		トイレドア プライベート仕様	
	H(DH)	W(DW)	H(DH)	W(DW)
0620	—	—	2023(1982.5)	648(592)
0720	2023(1982.5)	780(724)	—	—

2 枠の組立て

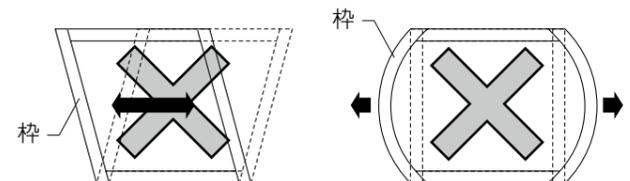
- 下図のように各部材を組合わせ、同梱のねじで固定します。

縦枠の切断は不用です。



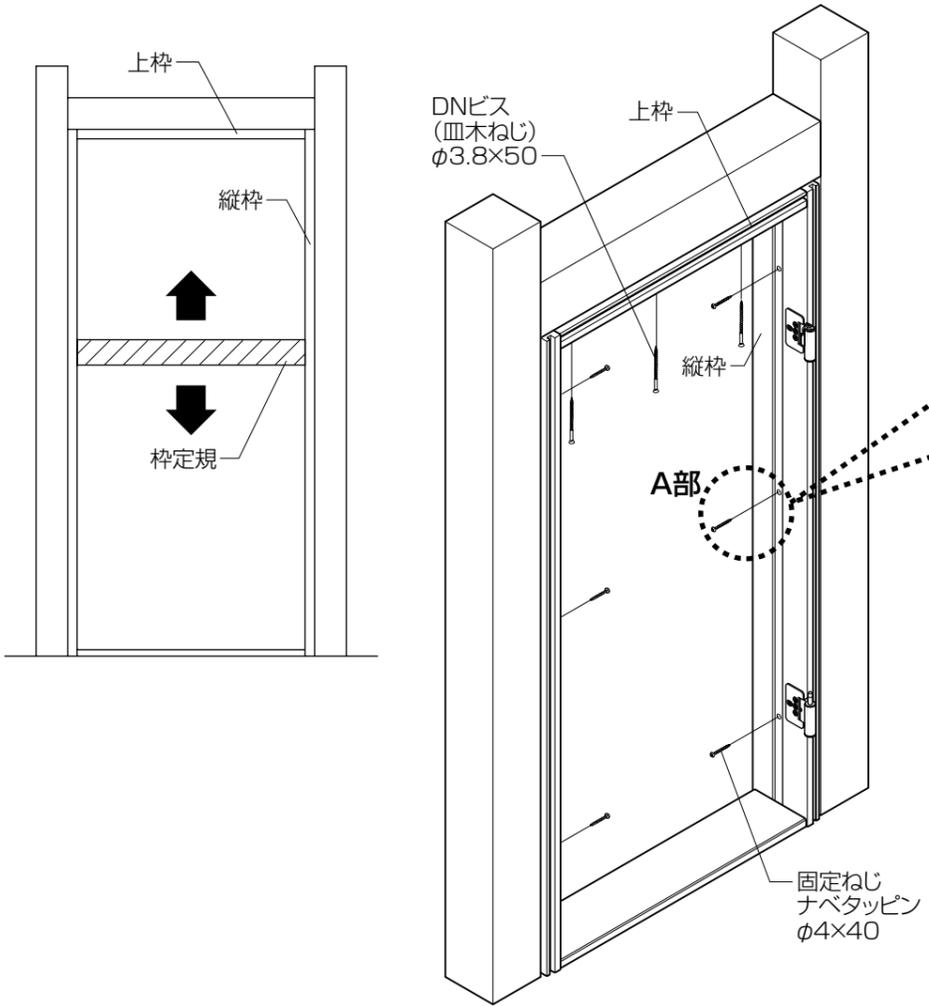
お願い
※ 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。

お願い
※ 枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
※ ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因となります。

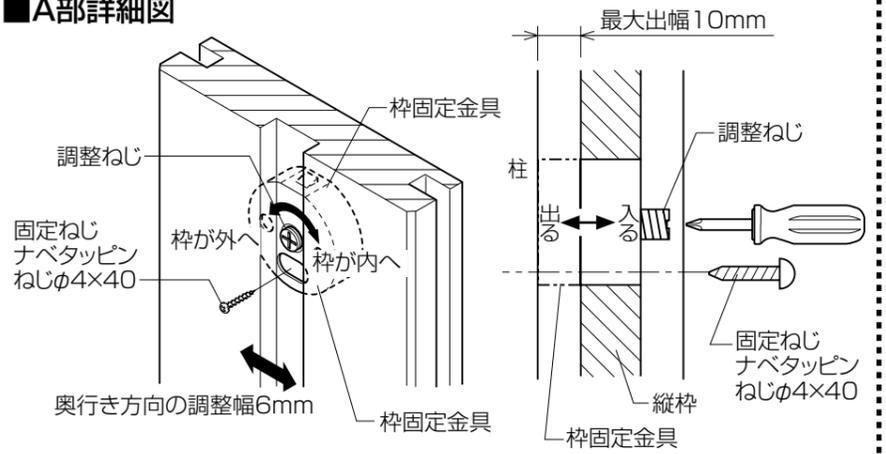


3 枠の取付け

- ①縦枠に取付られている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
 - ②枠の垂直を確認してください。
 - ③固定ねじ（なべタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
 - ④枠の奥行き方向の倒れを確認して下さい。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（奥行き方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじを固定してください。
 - ⑤枠定規をあてて、開口寸法（W方向）を確認してください。開口寸法が大きい場合は、反時計回りに回し、小さい場合は、時計回りに回して枠を調整してください。（左右の調整範囲は片側で10mmです。）
 - ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
 - ⑦上枠は、かい木を入れてDNビス（皿木ねじ）φ3.8×50で固定してください。
- ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用DNビス（皿木ねじφ3.8×50）で固定してください。

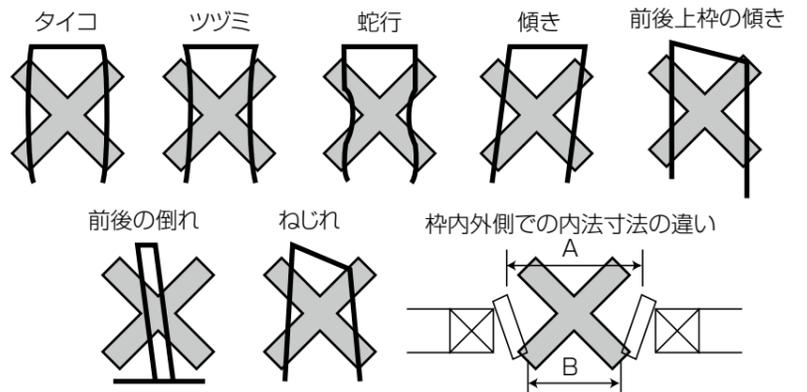


■A部詳細図



お願い

※必ず水平・垂直の建付け確認をしてください。タイコ、ツツミ、蛇行、傾き、倒れ、ねじれなどがなく確認してください。防音性能の低下や開閉不具合の原因となります。



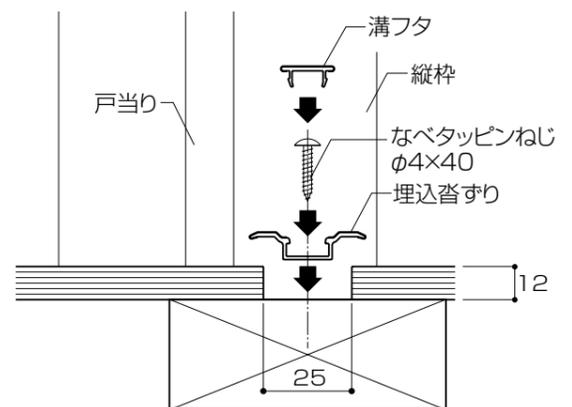
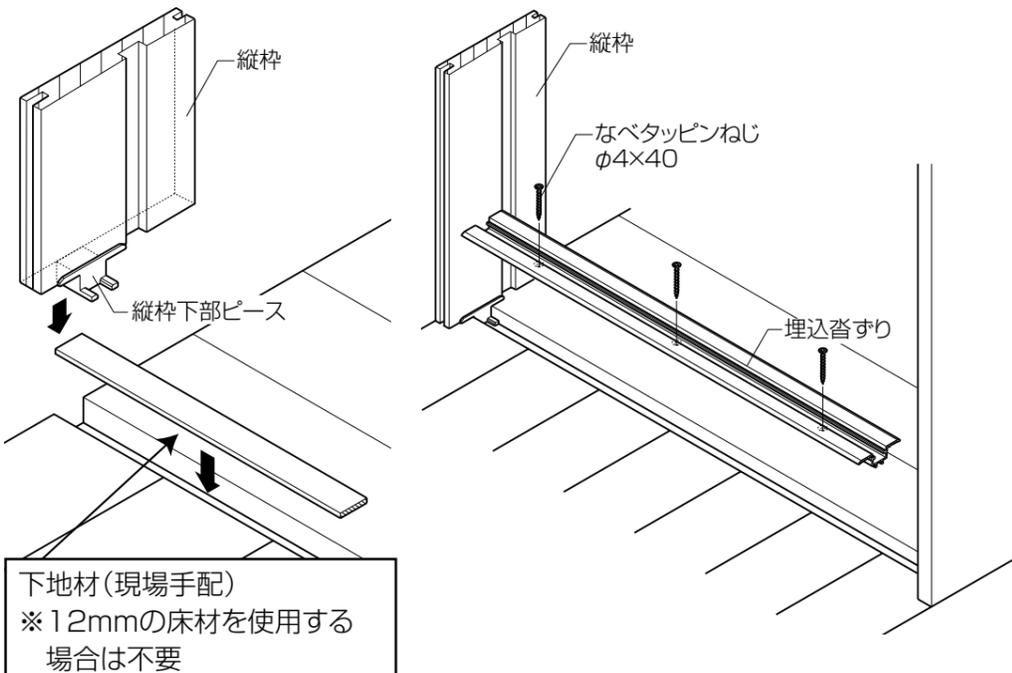
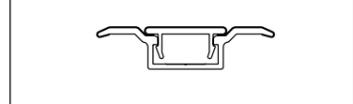
お願い

※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
 ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

4 埋込沓ずりの取付け

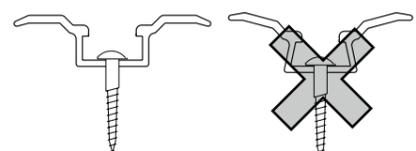
- ①（15mmの床材を使用する場合のみ）下地調整材（3mm厚：現場手配）を床の開口部に取付けてください。
- ②縦枠下部ピースの足に埋込沓ずりをしっかりとめ込んでからねじ止めしてください。
埋込沓ずりの浮き上がりや扉開閉不具合の原因となります。
- ③溝フタをはめ込みます。

■埋込沓ずり



お願い

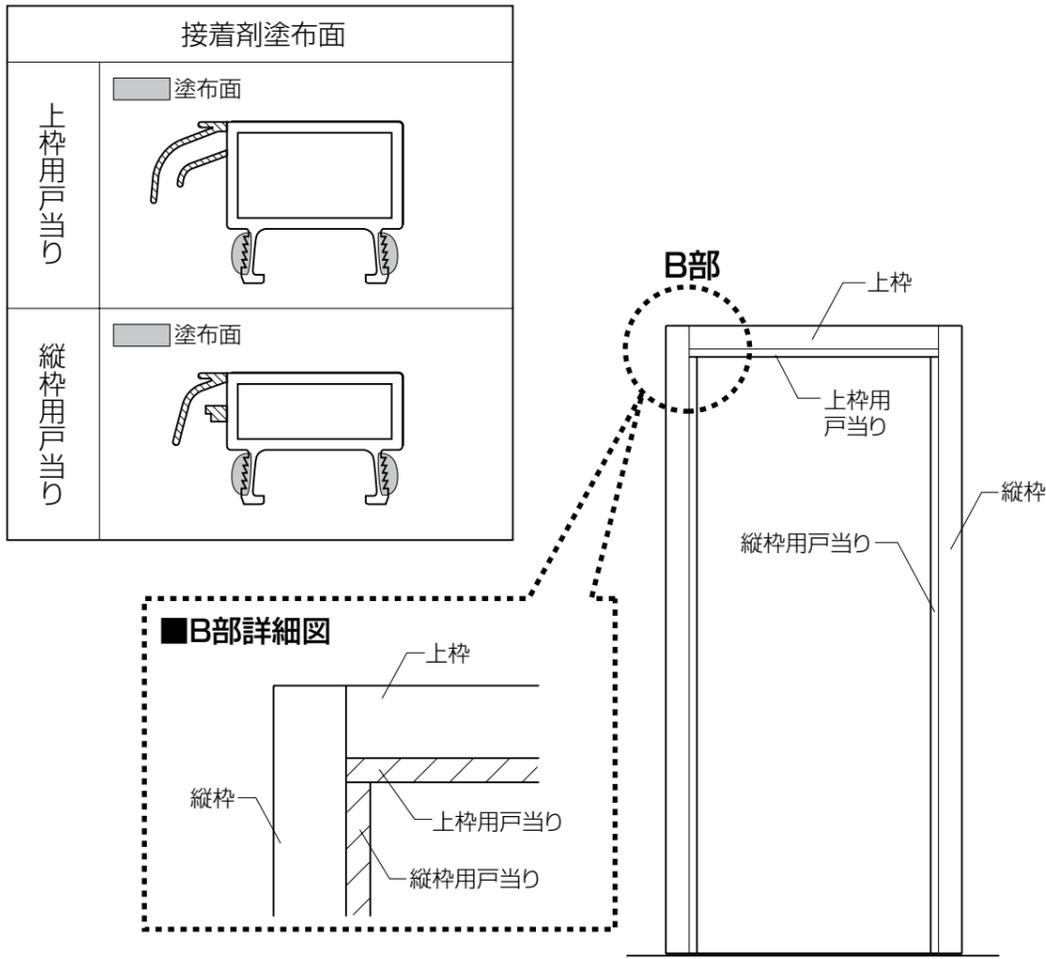
※埋込沓ずりを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。埋込沓ずりが変形し溝フタが閉まらなかったり埋込沓ずりと床材のすき間などの原因となります。



5 戸当りの取付け

- ①現場で縦枠用戸当りの寸法を合わせて切断してください。
 - ②戸当りの足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は右図参照)。接着剤(現場手配)がはみ出した場合は必ずふきとってください。
- ※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。

お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

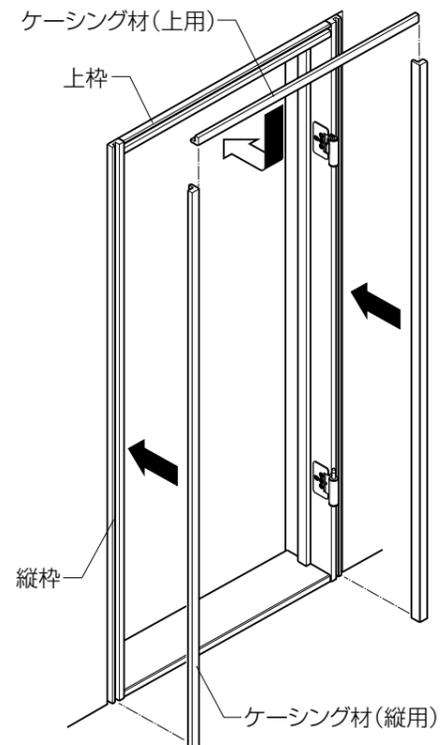


6 下地材と枠のすき間の充てん

- ①下地材と枠のすき間は、音漏れにより、防音性能に影響が出る場合がありますので、すき間への充てん材(防音パテ、コーキング、遮音シートなど:現場手配)の使用をおすすめします。

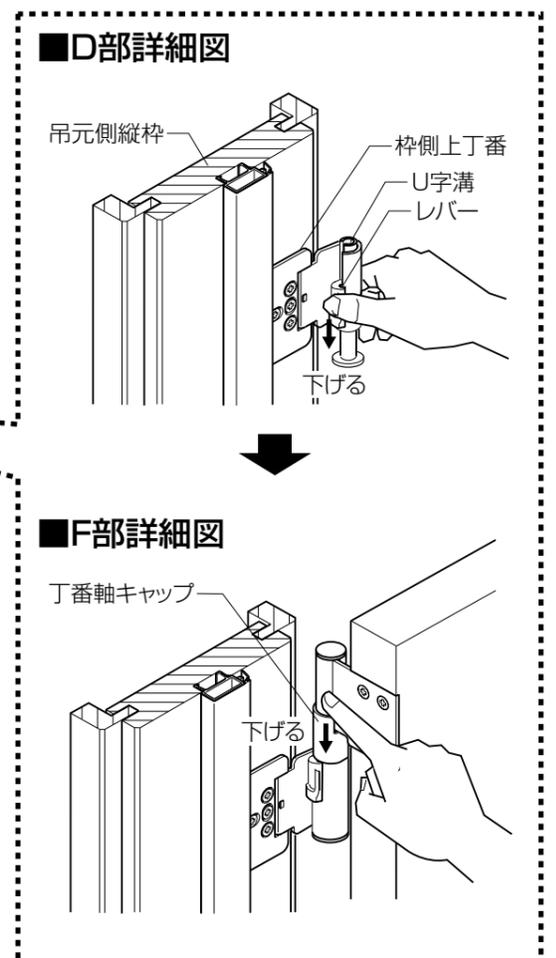
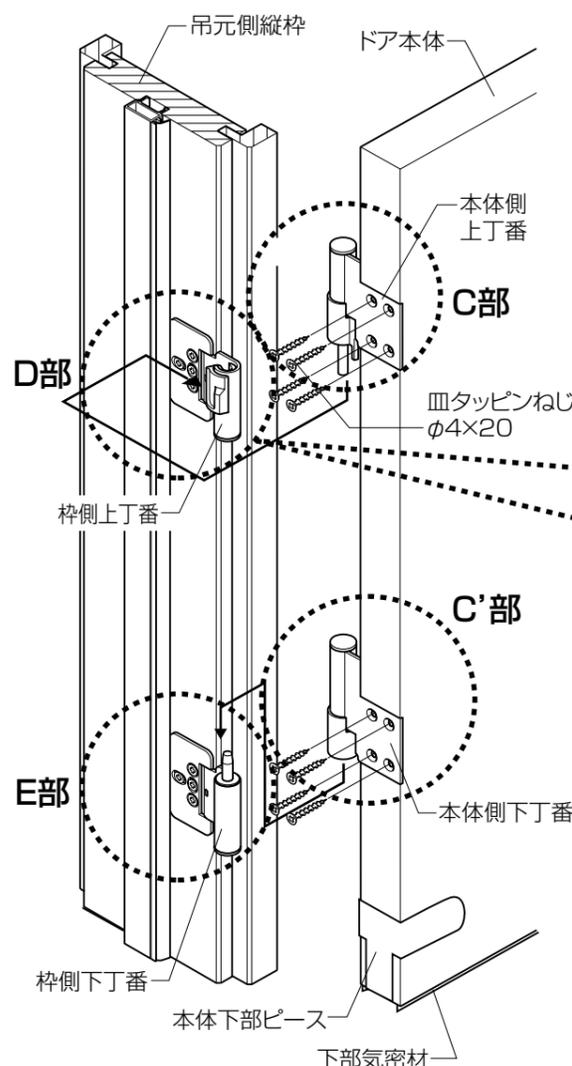
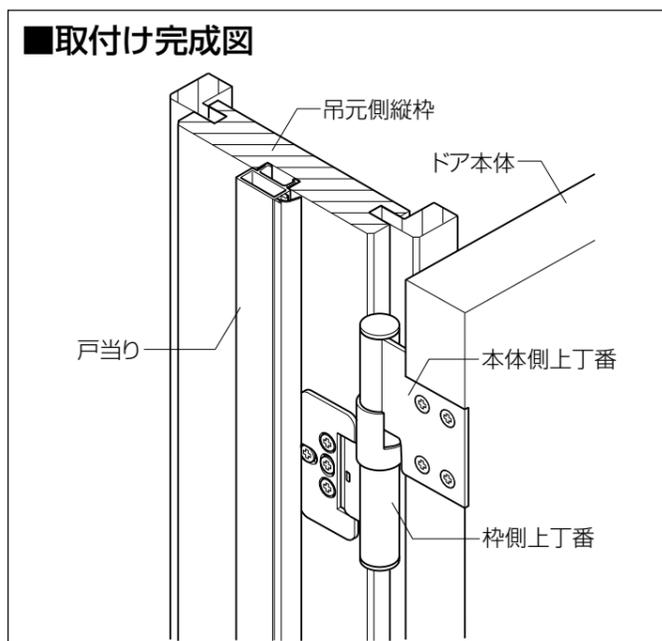
7 ケーシング材の取付け

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。(上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



8 ドア本体の取付け

- ①ドア本体に本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます(C・C'部)
※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ②枠側上丁番のレバーを止まるまで下げます。(D部)
※枠側上丁番の下部から軸が出てきます。
※レバーが動かなくなるまでしっかりと下げてください。
- ③本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(E部)
- ④本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
※扉側丁番の軸が枠側丁番に入ると自動でレバーが上がります。
※「カチャリ」とレバーが上がり、とび出していた軸が丁番に入り込んだことを確認してください。
- ⑤丁番軸キャップを手で下げてください。(F部)
※パチンとはまるまで確実に下げてください。
- ⑥本体下部ピースを取外してから、扉を閉めてください。

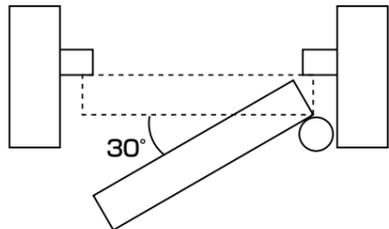


▲ 注意

- 本体を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

お願い

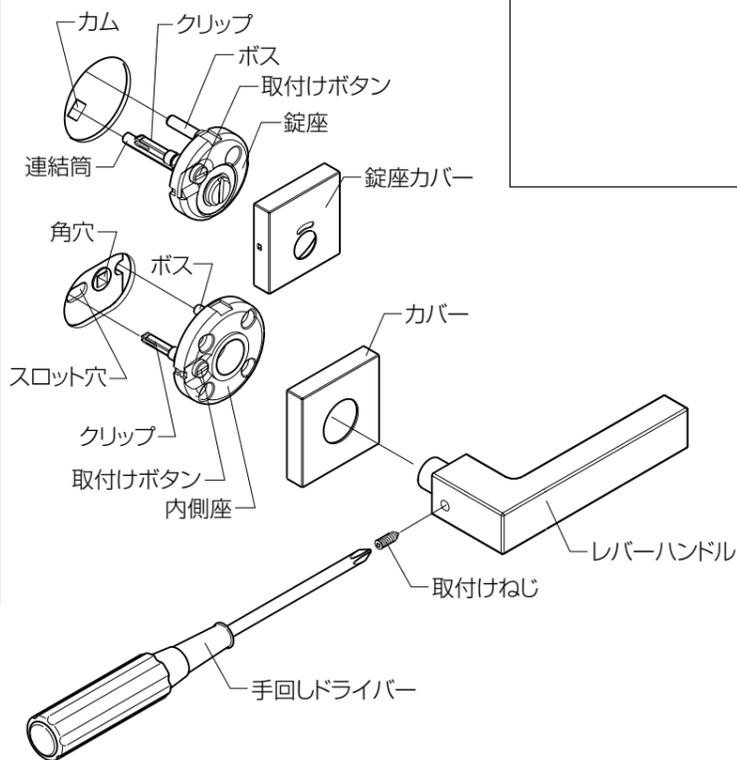
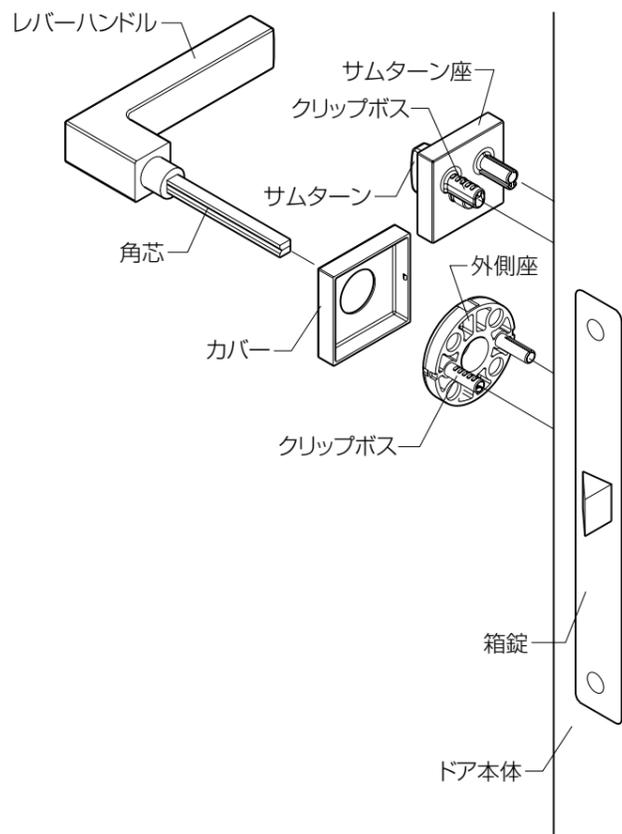
※本製品は防音性能をあげるため、本体自体が開閉時に3mm上下します。そのため本体が0~30°の範囲内においては扉が自動的に閉まりますので、ご注意ください。
他材との接触などにより建具破損の原因となります。



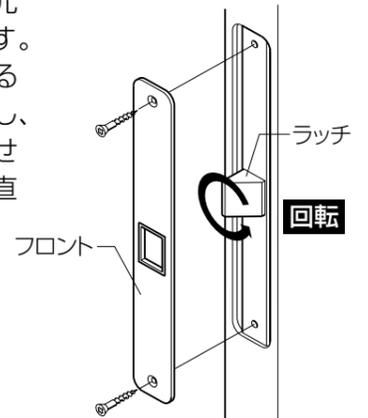
お願い

※本体を保管する際は下記の状況にあたる場所には置かないでください。
・直射日光の当たる場所
・昼夜などで温度差の激しい場所
・湿気の多い場所 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
※長期にわたる本体の立て置き保管はせずに寝かせた状態での保管としてください。本体のソリ・ねじれなどの原因となります。一時立て置き保管をする際は、下部気密材保護のため、ドア本体下部の下部ピースは取付けておいてください。

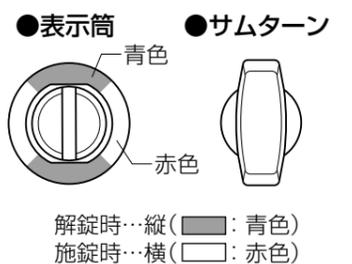
9 把手の取付け



※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを180°回転させた後、フロントを付け直してください。



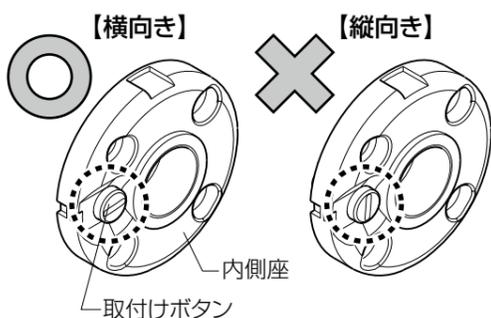
■ 表示筒とサムターンの向き



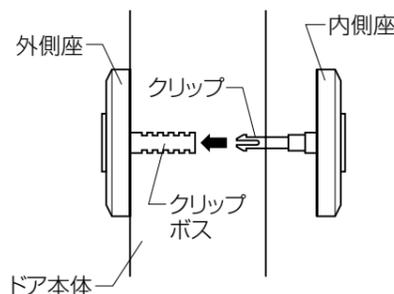
解錠時…縦(■: 青色)
施錠時…横(□: 赤色)
※表示筒の場合はサムターンと表示筒の溝の向きを上図のように合わせてください。

【ハンドルの取付け】

- ① 外側座を箱錠のスロット穴に差込んでください。
- ② 内側座の取付けボタンが横向きになっていることを確認してください。



- ③ 内側座のクリップを外側座のクリップボスに合わせて差込んでください。

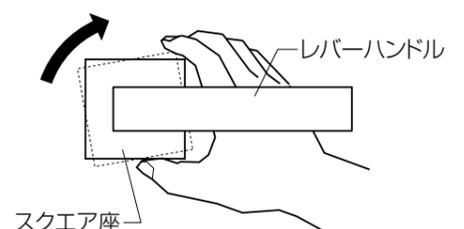


- ④ 取付けボタンを指で押込んでください。
- ⑤ カバーを時計回りにまわして座に取付けてください。



- ⑧ 座の位置(中心度)、姿勢(水平度)を手で修正してください。
※座はバネの力により両側の座でドア本体をはさみ込んでいます。

- ⑥ 両側のレバーハンドルを箱錠の角穴に差込んでください。
- ⑦ 両側からレバーハンドルを押し付けながら、取付けねじで固定してください。



- 水平にする(スクエア座の場合のみ)
- レバーハンドルと座の中心を合わせる

お願い

※クリップとクリップボス(穴があるボス)穴の中心位置を合わせてください。位置が悪いと差込むことができず、クリップが破損するおそれがあります。

お願い

※必ず手回しドライバーでねじ固定してください。

お願い

※必ず両側からレバーハンドルを押付けながら、ねじ固定してください。押付けないとレバーの前後ガタツキの原因となります。

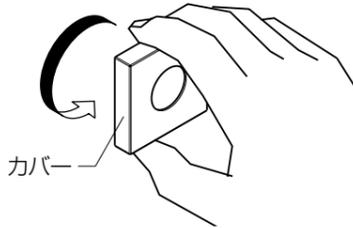
【錠座の取付け】

- ①サムターン座を先に切欠穴に差し込みます。
- ②錠座の取付けボタンの溝が横向きにセットされていることを確認します。
- ③錠座の連結筒を箱錠のカムに差し込み、錠座のクリップをサムターン座のクリップボスに合わせて差し込んでください。
- ④取付けボタンを指で押込んでください。
- ⑤サムターンを回して、正確にスムーズに施・解錠操作が行えることを確認します。
- ⑥錠座カバーを錠座に取付けてください。

【把手の取外し】

- ①取付けねじを外して、レバーハンドルを外してください。
- ②カバーを反時計回りにまわして外してください。

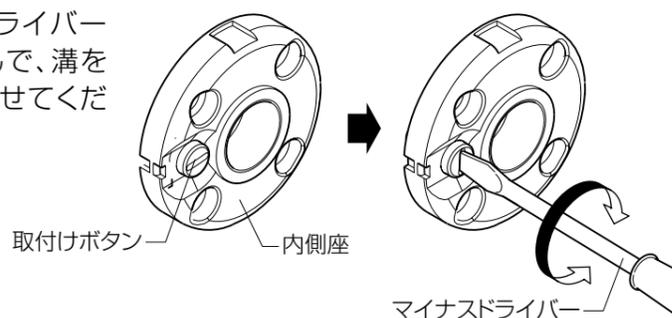
反時計回りにまわす(約20°)



- ③内側座の取付けボタンの溝にマイナスドライバーの先端を差込んで、溝を縦向きに回転させてください。

【横向きから】

【縦向きに】

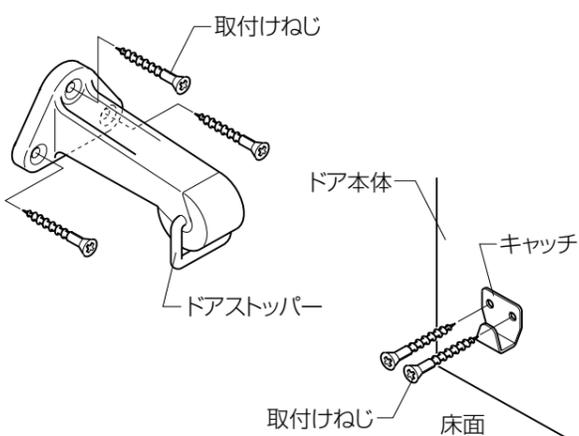


- ④両側の座を外してください。

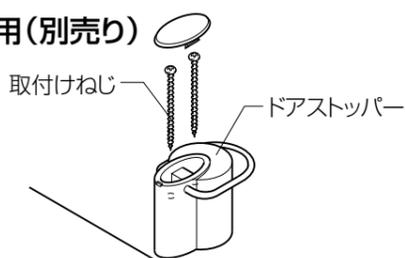
10 ドアストッパーの取付け

■床・壁付け用(別売り)

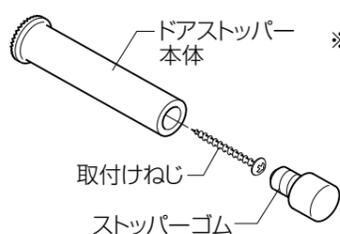
※このドアストッパーは、床付け、壁付けタイプ兼用です。



■床付け用(別売り)



■本体取付け用(別売り)



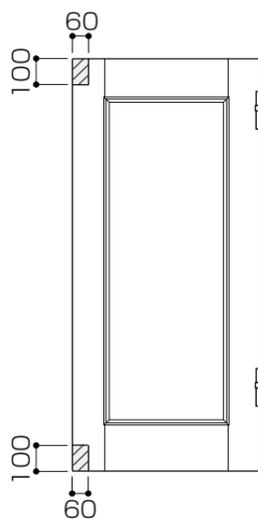
※このドアストッパーは、ドア本体付け・壁付け兼用タイプです。

■本体取付け用ドアストッパーおよび、キャッチの取付け範囲

※右図の斜線範囲内にドアストッパー本体又は、キャッチを取付けてください。

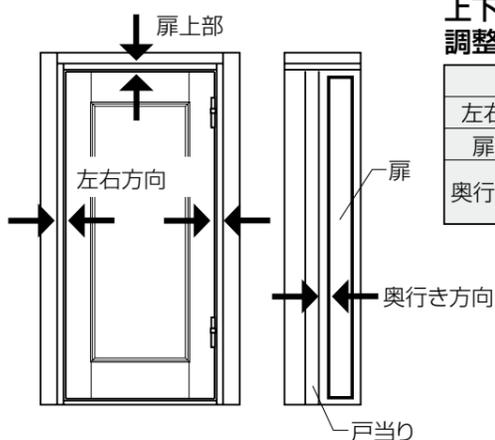
※壁付け・床付け戸当たりは、キャッチの位置に合わせて、壁又は床に取付けてください。

※ドアストッパー取付け時には、φ1.5の下穴をあけて手回しで固定してください。電動ドライバーなどの電動工具で締め付けると空回りすることがあります。



■建付け調整

■標準設定位置



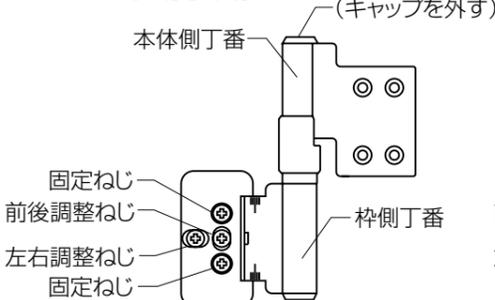
上下方向のチリは、本体上部チリを基準に調整してください。

	開いた時	閉めた時
左右方向	—	4mm
扉上部	4mm	7mm
奥行き方向	—	戸先側 4mm 丁番側 5mm

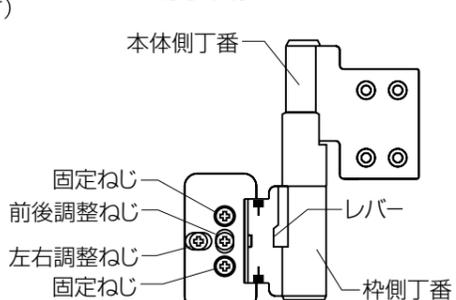
■三次元丁番

(図は、右吊り用丁番を示す)

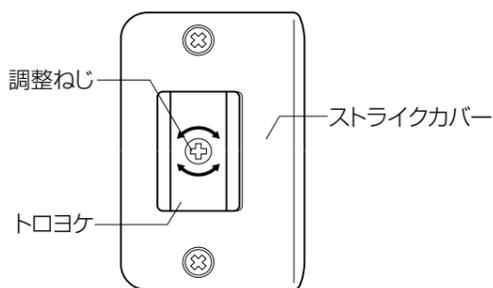
(下用丁番)



(上用丁番)



■建付け調整(ストライクによる調整)

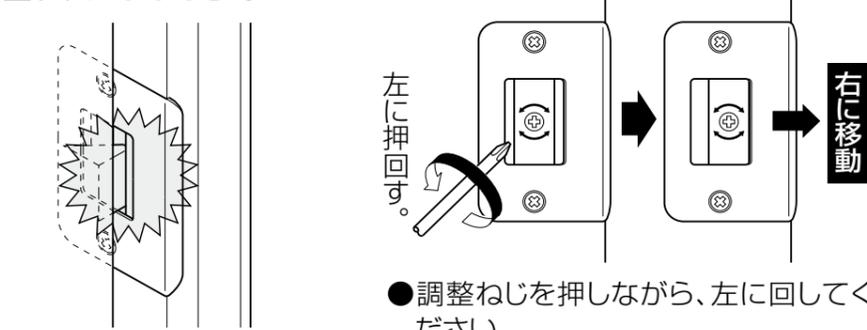


■ラッチがストライクの中でガタつく



●調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。

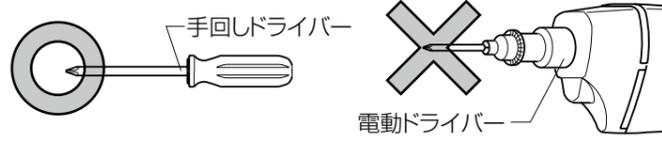
■ラッチがかからない



●調整ねじを押しながら、左に回してください。

■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。
 ねじ頭が壊れるおそれがあります。

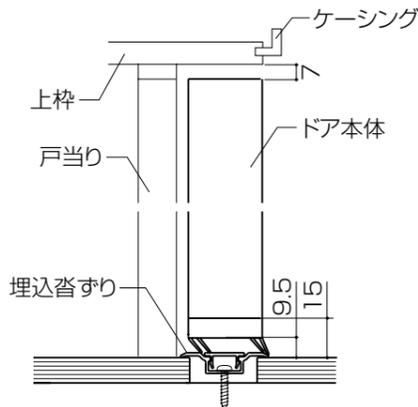


上下の調整

- 扉側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(4mm)、下(5mm)です。

標準設定位置

●本体を閉めたとき、下の納まりとなるように上下の調整をしてください。



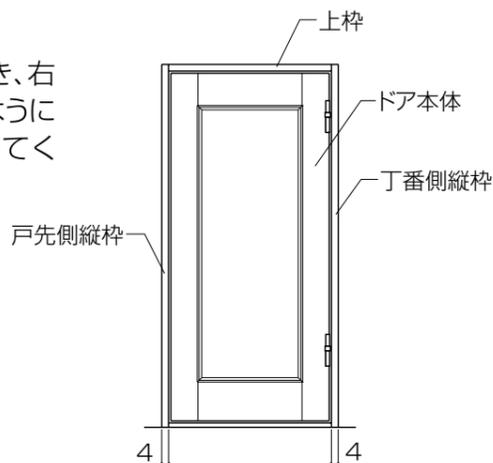
※下部気密材の埋込沓すりへの当り方を確認して必要なら調整してください

左右の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側(1.5mm)、開き側(2.5mm)です。

標準設定位置

●本体を閉めたとき、右の納まりとなるように左右の調整をしてください



不具合例

- ドアの上部が枠に当たる
- 音が下部から漏れている

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

不具合例

- ドアの開閉が重い

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

不具合例

- ドアの開き側が枠に当たる

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

不具合例

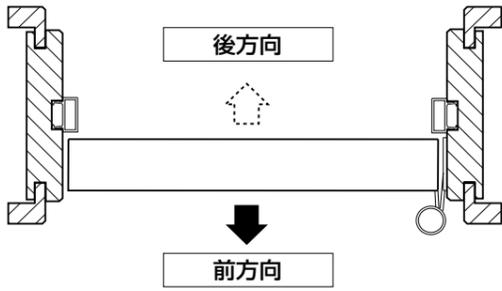
- ドアの開き側のすき間が大きすぎる

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

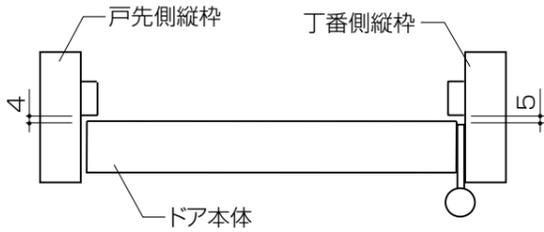
前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。



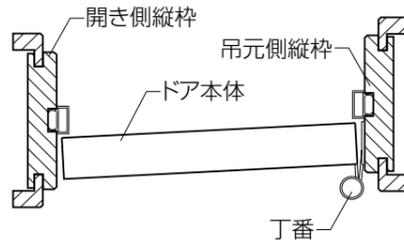
標準設定位置

- 本体を閉めた時、下の納まりとなるように前後の調整をしてください



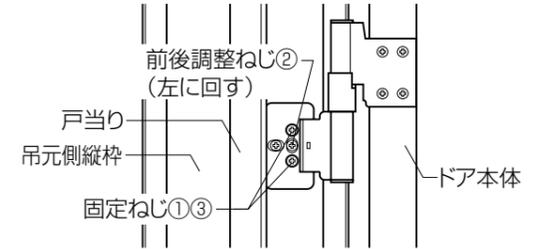
不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。



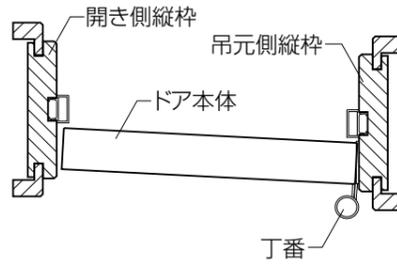
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。



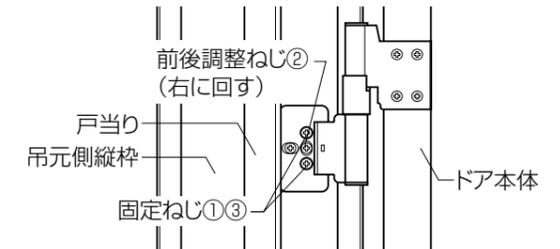
不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。



調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。



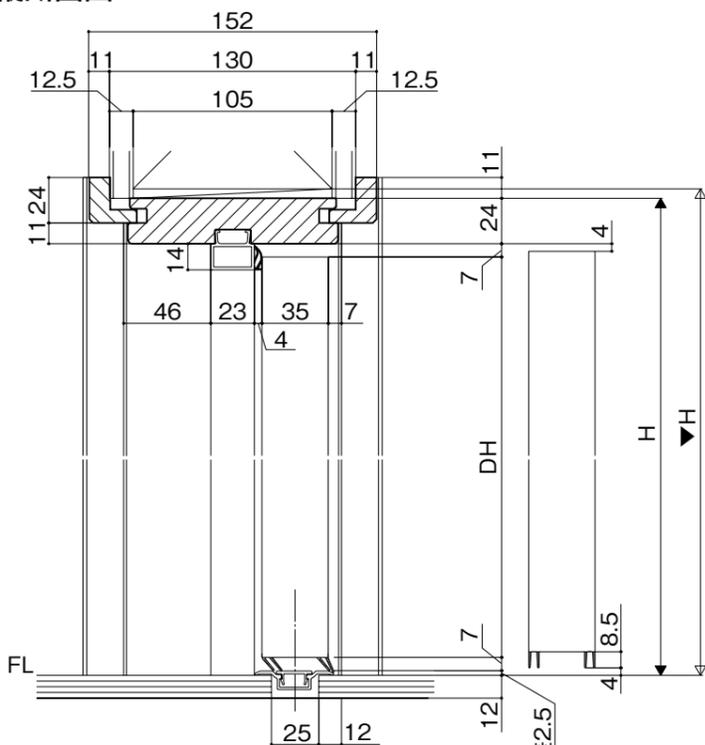
お願い

- ※ 枠と本体の位置が標準設定になるように調整してください。本体開閉の不具合や防音性能の低下の原因となります。
- ※ 調整完了後、ドア本体を開閉して下記事項を点検してください。(異常があった場合、再度調整してください。)
- ※ 戸当りと枠の間にすき間がなく、戸当り受けに安全にはまっているか。
- ※ 枠側上丁番のレバーが上まで上がっているか。
- ※ ドア本体が枠にぶつからないか。(ドア下端の下部気密材密着は適切か)
- ※ ドア本体のラッチが、ストライクから外れないか。
- ※ ドア本体のラッチが、ストライクの中でガタつかないか。

■納まり図

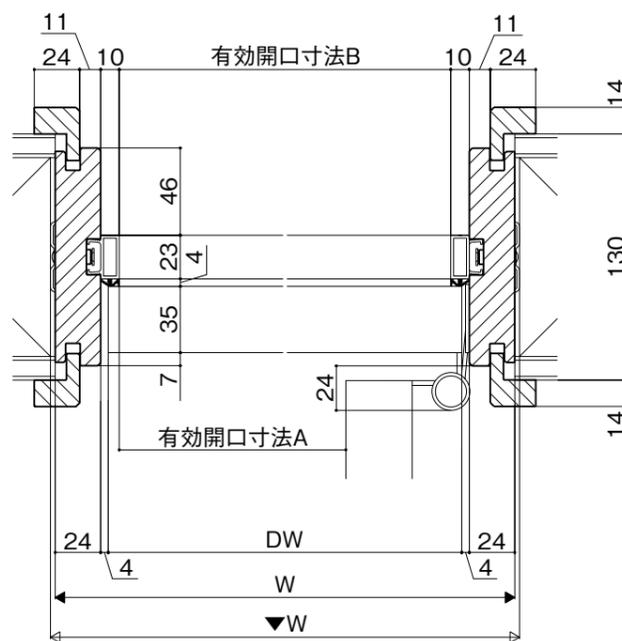
【プライベート仕様 標準/トイレドアユニット ケーシング付】

■縦断面図



※ 枠の見込み寸法が変わっても、沓ずりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

■横断面図



	W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
標準ドア	W07(780)	657	712
トイレドア	W06(648)	525	580